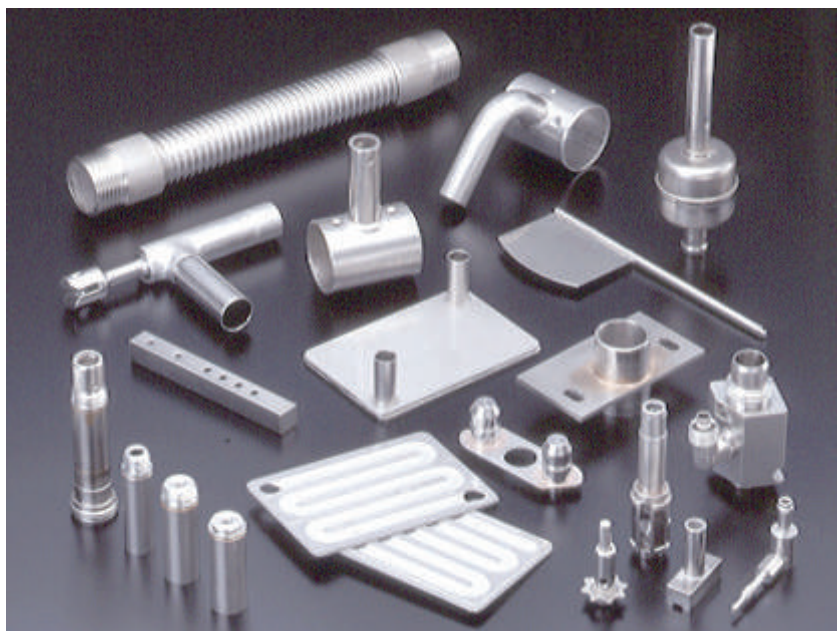


チトセ工業株式会社

オリジナル技術で環境製品を開発 無線センサー、熱交換器

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- メイドインジャパン
- 試作可
小ロット
- 産地対応



無酸化炉中ろう付け製品群

業務内容
精密プレスとブレイジング加工で多様なニーズに応える

ステンレスや鉄材を中心に、充実した設備で広範な精密プレス加工を手掛ける。非鉄金属プレスでは表面防錆を徹底管理し複雑な曲げ加工に対応。また、家電メーカー向けに供給してきたテレビチューナー製造の基盤技術として、金属部材を気密性が高く高精度高強度に接合する「無酸化炉中ろう付け（ブレイジング）加工」を展開する。材料を酸化させず鉄や銅、ステンレスなど異種金属の接合に特性を発揮。通常の溶接やレーザー接合に比べ量産性と品質安定性で優れる。現在では各種自動機や工業用マシン、配管や各種ギア部品など多様な分野で顧客ニーズに応えている。

強み
試作から量産まで、一貫した体制でものづくりを支援

金属プレス加工やブレイジング加工で培った約40年の実績とノウハウが最大の強み。近年では3D設計や熱計算理論など先進的技術武装に加え、M&Aにより金型設計・製作の業容を拡大。試作から量産まで一貫したプロセスで顧客のものづくりを支えている。また地場メーカーとの連携を図り、技術要請への対応力を強めている。さらに、同社では現場で培った金型設計技術を駆使。スリット無しによるゼロカット工法など、プレス加工分野の一般常識（限界）打開に挑戦する。これまで、新たな工法を模索し技術要請へのNGを解決してきた。

人材教育
Web教育の活用で社員
の意識や技量を向上

社員に月1回の提案機会を設け、

部署ごとに従業員主導のQCサークル（改善活動）を展開している。一方、人材育成では3年前からインターネットを介した「Web教育」を実践。労働に関する総論から品質管理手法まで、多様な講義内容を個人が活動テーマに沿って選択する。受講結果は職場での議論およびレポート報告で上司が確認し集約している。中西啓文社長は「経験や感を頼りにしてきた従来の技能分野も、若手社員は数値に置き換えている」と、Web研修による個人の意識や技量の向上を評価。時代移行とともに技能継承の形も変化しているという。

今後の展望
環境機器分野で新たな
事業化を目指す

「下請けの加工業に留まらず、自社製品の開発を進める」という中西社長の方針のもと、平成22年に事業開発部を発足。環境機器分野で新たな事業化に取り組んでいる。その一例が燃料電池などの補機に使用される熱交換器で、ブレイジング加工をベースに一貫生産で対応。多様な分野で熱エネルギーの有効化に役立つ機器開発を進めている。二つ目は、無線技術を生かしたセンサーネットワーク機器の開発。産学連携事業として植物工場向け「無線温・湿度センサー」を開発し実績を上げている。今後も用途拡大するセンサーネットワーク機器の無線化に取り組んでいく。



無線センサー／熱交換器

COMPANY PROFILE チトセ工業株式会社

大阪25 ISO 9001 ISO 14001

当社の歴史

昭和37年、中西由尚が東大阪市立花町に各種スプリングの設計、製造を手掛ける「宮尾工業所」を創業。翌年、チトセ工業を設立し自動車計器や弱電関連機器の部品用精密スプリングをメインに展開。その後、金属プレス部門を新設し、テレビチューナーや無線機器の金属筐体の生産を始める。平成10年、中西啓文が代表取締役役に就任。「より良いものをよりよく」の経営理念に基づき、顧客に喜ばれる技術でものづくりを行っている。

無線機器の部品加工で培ったプレス、熱処理、電子設計技術でものづくりに挑戦します。



代表取締役 中西 啓文さん

■主な事業内容

金型設計技術を核に、電子部品をはじめとする精密金属部品の金属プレス加工および金属接合（ブレイジング技術）を手掛けます。無線センサー開発販売

■主な取引先（納入先）

電気、電子部品メーカー

住所／〒576-8063
東大阪市横小路町
4-9-56
TEL／072-984-5601
FAX／072-984-4868
創業／昭和37年5月
設立／昭和39年11月
資本金／1,000万円
従業員／50名

<http://www.chitose-kk.co.jp>